

頑張る

農業法人

大江山の麓で農地が広がる与謝野町(旧加悦町)滝地区で、米・野菜生産、施設園芸、農作業受託、観光果樹園など経営多角化に取り組む農業生産法人「有会社あつぷるふぁーむ」。

6人が転作田にリンゴ苗10000本を定植し、「あつぷるふぁーむ」の前身ともなる「大江山観光農園」を設立して、オーナー制を導入。生産から販売への充実を図ろうと93年に法人化。出資者は仲間6人。小田浩二代表取締役(68)ら5人が役員で、正従業員20人。

白大豆販売先の豆腐工場から、排出するおからを原料とした有機質肥料で、「京の豆っ子米」や野菜を生産する循環型農業を行う。受託で荒廃地を守ったり、消費者との交流、担い手育成などをしたりして、地域農業振興のモデル的な存在となっている。

□ □

滝地区は兵庫県に隣接する山間地域。中央に滝川の豊かな清流に育まれた良質米中心の地域だった。米の転作が厳しくなった1985年、農家

当初仲間が農地を出し合ってハウスを建て細ネギを栽培。徐々に品目を増やし、現在はハウス30棟でみず菜、壬生菜、細ネギ、ナス、花苗など栽培。さらに40棟でハクサイなどを採種栽培し種苗会社に出す。露地でも多品目を栽培し、JA京都を通して地元スーパーや大手漬物会社に出荷。リンゴ、桃、

あつぷるふぁーむ 与謝野町

担い手育て地域けん引

経営多角化に取り組む「あつぷるふぁーむ」の小田浩二代表取締役(前列中央)と役員、スタッフら



循環型農業で経営多角化

ブドウなどの果樹栽培の他、繁殖牛6頭を飼育し、市場出荷している。また、水稻を20畝で生産。減農薬栽培米「丹後産コシヒカリ」として良食

味評価を受け、エコファーマーを認定。さらに受託した畑で白大豆を有機質肥料で栽培し、循環型農業が評価され2010年の第38回全国豆類経営改善共励会で農林水産大臣賞を受けた。

担い手育成にも熱心で、若手新規就農研修生4人を受け入れ、2人が法人役員にもなっている。

□ □

収入面では、米・野菜・大豆の作業受託が主力で果樹栽培は低い。今後の課題は販路拡大ということで、JAからも販売先などの提案を受けている。

小田代表は「地域農業維持のため新規就農者を受け入れる。また有利販売のため自然循環型農業を広めたい」と意気込む。

▽法人の所在地 与謝野町滝907 電話 0772(43)2097